

令和4年度
中海・宍道湖・大山圏域市長会
事業実施報告

目次

1 事業実施概要	……p. 1
2 一般会計	
1. 事務局運営費	
（1）事務局運営費	……p. 2
2. 事業費	
（1）活力にあふれる圏域づくり（産業振興）	
①圏域企業の産業連携支援事業	
・圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング……p. 3	
・産学・医工連携事業	……p. 5
②圏域内企業の海外展開支援事業	
・海外商談会参加等支援補助金	……p. 6
・インドとの経済交流事業	……p. 7
・台湾との経済交流事業	……p. 8
③山陰いいものマルシェプロジェクト	
・山陰いいものマルシェプロジェクト	……p. 9
（2）訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）	
①一社）圏域観光局への負担金	
・一社）圏域観光局への負担金	……p. 1 0
（3）住みたくなる圏域づくり（環境の充実）	
①自然環境の保全・活用事業	
・自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発	……p. 1 1
②安心して暮らすことのできる環境づくり事業	
・防災対策の充実	……p. 1 3
（4）ともに歩む圏域づくり（連携と協働）	
①圏域情報の共有・発信	
・圏域内外のエリアプロモーション	……p. 1 4
②圏域内の連携・交流推進	
・圏域内の連携・交流推進	……p. 1 6
・人材育成の共同化	……p. 1 8

・文化・スポーツ交流促進事業	……p. 2 1
・圏域情報活用推進事業	……p. 2 3
・中海・宍道湖レガッタ開催支援事業	……p. 2 3
・移住・定住促進事業	……p. 2 4

3 特別会計 環日本海貨客船航路就航支援補助金

(1) 環日本海貨客船航路就航支援

①定期貨客船航路就航支援補助金	……p. 2 9
-----------------	----------

参 考 令和4年度 中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告

(1) 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局令和4年度決算額一覧表	……p. 3 1
(2) 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告	
①外国人誘客対策事業	
・クルーズ客船寄港時のおもてなし	……p. 3 2
・圏域インバウンドプロモーション	……p. 3 3
②国内誘客対策事業	
・国内広域観光プロモーション	……p. 3 5
・人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業	……p. 3 6
・圏域観光再生支援プログラム	……p. 3 7
③圏域観光の魅力アップ事業	
・圏域周遊促進及び受入環境充実	……p. 3 8
④中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費	
・中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営	……p. 4 0

1 事業実施概要

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大によって、社会、経済活動に多くの影響を受けざるを得ない状況が続いたが、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進捗し、重症化リスクに応じた保健医療体制の重点化など、感染症への対応策が進展した。この中で当市長会においては感染状況を注視するとともに、次の段階も見据えながら、これまで推進してきた取り組みが途切れることなく、効果的な事業展開を図ったところである。

特に、大きな成果として、10月に中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市間の交流促進覚書を締結し、1月には中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会とともに、TJPO、日本台湾交流協会、台湾貿易センターといった貿易関係の各機関を回り、あわせて圏域内企業と現地のコンサルタントの方々と意見交換を行うなど、台湾との経済交流の足がかりを築くことができた。

また圏域の長年の懸案事項でもある高速交通ネットワーク整備に向けて「圏域8の字ルート研究会」を立ち上げ、高規格道路ネットワークをいかしたまちづくりについて研究を行い、経済界が立ち上げた「8の字ネットワーク整備による効果分析検討会」と連携を進め、圏域の高規格道路ネットワークの整備促進に向け機運醸成を図った。

更に、観光分野では来るべきアフターコロナのインバウンド再開を見据え、圏域市長会と台北市との交流促進覚書に呼応し、(一社)中海・宍道湖・大山圏域観光局では台湾での商談会の実施や台湾人向けのコンテンツの造成をはじめ、圏域周遊プランの造成、観光コンテンツの磨き上げ等、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている観光分野においても積極的な事業展開を図ったところである。

○一般会計	16事業	101,819千円	(※事務局運営費を除く)
○特別会計	1事業	0円	
事業検証については、中海・宍道湖・大山圏域市長会総合戦略推進委員会で実施。			

1. 事務局運営費

(1) 事務局運営費

事業名等	事務局運営費			
事業概要	予 算 現 額		8,900,000 円	
中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局の運営にかかる経費。 圏域市長会の円滑な運営を図るため、市長会規約第11条第1項の規定に基づき、事務局を置く。	決 算 額		8,382,156 円	
	財 源	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
	内 訳	負 担 金	一般	3,584,918 円
			特定	4,797,238 円
前年度決算額			12,363,199 円	

1. 事業内容

(1) 各種会議の開催

総会	3回	8/5・2/10・3/30 (書面)
幹事会	3回	7/12・11/24・1/27
企画担当課長会	5回	5/12・6/27・10/5・11/18・1/19
産業振興担当課長会	4回	4/28・10/7・11/15・2/20
観光振興担当課長会	2回	5/11・10/27
環境保全担当課長会	2回	4/27・10/4
総合戦略推進委員会	1回	8/23

(2) 事務局の運営

2. 経費内訳

	現計予算額	R4 決算
・ 会議費	420,000 円	421,626 円
・ 旅費	300,000 円	0 円
・ 需用費	1,240,000 円	769,758 円
・ 役務費	500,000 円	532,496 円
・ 委託料	40,000 円	36,887 円
・ 使用料及び賃借料	1,200,000 円	1,626,151 円
・ 備品購入費	200,000 円	198,000 円
・ 人件費負担金①	5,000,000 円	4,797,238 円
計	8,900,000 円	8,382,156 円

○令和4年度人件費負担金① 一般第4期

	当初予算	R4 決算
米子市	1,250,000	1,199,310
松江市	1,250,000	1,199,310
出雲市	1,250,000	1,199,310
境港市	625,000	599,654
安来市	625,000	599,654
合計	5,000,000	4,797,238

2. 事業費

(1) 活力にあふれる圏域づくり (産業振興)

02 事業費

事業項目	①圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング			
事業概要	予 算 現 額		10,500,000 円	
	決 算 額		7,730,000 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
		負 担 金	一般	7,730,000 円
			特定	0 円
前年度決算額		5,170,000 円		

1. 事業内容

圏域内企業の取引拡大や連携促進等による圏域経済の活性化を図るため、圏域内の商工団体と行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」(事務局：まつえ産業支援センター)へ業務委託し、ビジネスマッチング商談・展示会の開催等を行った。

(1) 圏域内企業情報データベースの情報発信

○圏域内企業間の産業連携や圏域外企業との新たな事業連携を促進するため、「圏域ものづくり.net」の掲載企業情報を充実させ、圏域内外企業へ情報発信を実施

「圏域ものづくり.net」実績

年度	H30	R1	R2	R3	R4
登録企業数(社)	568	579	601	695	707
全アクセス数(件)	476,004	541,952	525,415	619,575	659,958
月平均アクセス数(件)	39,667	45,162	43,784	51,631	54,996

(2) 圏域内企業のビジネスマッチングの開催

○圏域内企業の販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携の促進等を図るため、10月13日(木)、くにびきメッセにてビジネスマッチング商談・展示会 2022in 松江を対面式で開催

「ビジネスマッチング商談会」実績

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
参加企業(社)	301	285	291	163	163	196
商談件数(件)	711	651	663	318	263	479
開催地	米子市	安来市	出雲市	オンライン		松江市

※R1までの数値：対面式商談会、R2、R3数値：オンライン商談会

第2期地方版総合戦略の数値目標：R2～R6 商談件数累計3,400件(680件/年あたり)

発注企業招致状況

年度	R1 年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
会場	出雲 (平田) エントリー 商談参加		オンライン エントリー 商談参加		オンライン エントリー 商談参加		松江 エントリー 商談参加	
機械金属系	46(27)	34(16)	30(13)	25(12)	22(6)	15(6)	37(20)	27(13)
飲料・食料品系	61(22)	56(19)	31(11)	27(8)	41(9)	28(6)	44(10)	39(7)
合計	107(49)	90(35)	61(24)	52(20)	63(15)	43(12)	81(30)	66(20)

※() 内は新規

エリア別商談件数

年度	R1 年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
会場	出雲(平田)		オンライン		オンライン		松江	
圏域外⇔圏域内	490 件(73.9%)		225 件(70.7%)		182 件(69.2%)		375 件(78.3%)	
圏域内⇔圏域内	72 件(10.9%)		32 件(10.1%)		47 件(17.9%)		43 件(9.0%)	
圏域外⇔圏域外	101 件(15.2%)		61 件(19.2%)		34 件(12.9%)		61 件(12.7%)	
合計	663 件		318 件		263 件		479 件	



ビジネスマッチング商談会の様子

2. 経費内訳

- ・ 中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会への委託料 7,730,000 円

事業項目	①圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	産学・医工連携事業			
事業概要	予 算 現 額	10,970,000 円		
圏域内の商工団体、自治体、国立大学、国立工業高等専門学校、研究機関等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」と連携し、圏域内企業の産学・医工連携支援を行う。	決 算 額	10,231,463 円		
	財 源	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
	内 訳	負 担 金	一般	10,231,463 円
			特定	0 円
前年度決算額	9,876,761 円			

1. 事業内容

圏域の自治体、事業者、病院、国立大学等の産官学で行われている医工連携の取組促進により、産業振興、雇用創出等を図るため、圏域内の商工団体、自治体、国立大学等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」（事務局：米子市経済戦略課）へ業務委託し、産学・医工連携の取組における各種ニーズとシーズのマッチング機会の提供（入口支援）、研究への指導・助言（開発支援）等及び製品化された器具の販路開拓（出口支援）等、各段階における支援を行った。

(1) 医療・福祉・介護機器の開発支援

- ニーズ案件の試作・実用化・臨床化支援
- 各種相談支援（マッチング支援、開発支援、販路開拓支援、困りごと相談）

※年間相談件数：145件

(2) ニーズの調査、検討及び案件化

- 前年度の圏域内医療機関等のニーズ案件に関する調査及び検討
- 実現精度の高いニーズの具現化（新規開発・既製品とのマッチング）
- 圏域外企業からの部品調達ニーズへの対応（圏域内企業とのマッチング）

※マッチング成立件数：18件

(3) 普及広報活動

- ホームページ、パンフレット、圏域企業ガイドブック等による情報発信
 - ①賛助会員相互の情報交換の場「賛助会員の広場」の運営
 - ②ホームページ上に「医工福連携なんでも相談コーナー」を新規に開設
 - ③協議会広報紙「医工連携推進協議会通信」の発行（年4回季刊）
 - ④医工福連携の取組みの推進（福祉現場からのニーズ聴取・賛助会員加入促進）

※賛助会員数：83社（3月末現在）

[令和4年度の新製品開発等（実用化）]

- 不織布マスク用装着補助具「マスクサポート」の販売支援
医工連携での商品開発をビジネスとして成立させるため、「マスクサポート」の販売支援に継続して取り組んだ。
- 医療廃棄物容器用電動開閉装置「ミューカス」の開発支援
「圏域の医療機関（済生会境港総合病院）の企画考案で、圏域のものづくり企業が製造」という、最も理想的な開発形態であり、継続して積極的にビジネス化を支援していく。



2. 経費内訳

- ・中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会への委託料 10,231,463 円

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	海外商談会参加等支援事業			
事業概要	予 算 現 額	4,500,000 円		
海外で行われる商談会等に参加する圏域内の企業へ補助金交付等を行い、海外展開やインバウンドの推進に繋がる取組を支援する。	決 算 額	3,600,000 円		
	財 源	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
	内 訳	負 担 金	一般	3,600,000 円
			特定	0 円
前年度決算額	0 円			

1. 事業内容

圏域内企業における外国人観光客の誘致及び自社製品・技術等の海外への販路開拓に向けた海外商談会参加等の自主的な取組を支援するために補助金を交付する事業。年度後半には新型コロナウイルス感染症にかかる渡航規制も緩和され、補助金が活用された。

(1) 海外商談会参加等支援補助金

○実績 **25 事業所に対し 3,600 千円の補助金を交付**

○実施期間 令和4年5月1日～令和5年3月31日

○募集期間 令和4年5月1日～令和5年1月31日

○補助対象者 圏域5市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体

○補助金額 原則、補助対象経費の1/2 補助上限額 10万円

ただし、以下の場合、①～②に応じた補助率、補助上限額。

① 韓国、中国、インド及び台湾での商談会等に参加する場合
補助対象経費の2/3 補助上限額 15万円

② 前年度以前（H24～）に補助金の交付を受けている場合
補助対象経費の1/4 補助上限額 10万円

○申請回数限度 同一の申請者は、同一年度に1回かつ通算3回を申請限度とする。
ただし、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等参加の場合は、通算4回目の申請を認める

[補助金交付実績（参考）]

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
補助事業者数	30	18	18	5	13	15
補助金額（千円）	3,455	3,285	2,898	663	1,818	2,834
年度	H30	R1	R2	R3	R4	
補助事業者数	5	16	0	0	25	
補助金額（千円）	308	1,364	0	0	3,600	

2. 経費内訳

・海外商談会参加等支援補助金 3,600,000 円

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	インドとの経済交流事業		
事業概要	予算現額	10,141,000 円	
インド・ケララ州との経済交流拡大を目指す覚書(MOU)の締結に基づき、企業進出やビジネスマッチング等の実現のため、密接な協力体制の構築支援、情報交換、視察交流等を行う。	決算額	8,396,225 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金 (クレア)	3,500,000 円
		負担金	一般
	特定		0 円
前年度決算額	4,195,771 円		

1. 事業内容

平成27年にインド・ケララ州政府と締結した経済交流を拡大する覚書の具体化を図るため、圏域とインド・ケララ州を繋ぐグローバルな視野を持つIT等人材の圏域内企業への就職、日印企業連携推進を目的に、圏域の産業・商工団体、島根大学、自治体等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域インド人材受入・企業連携事業実行委員会」(事務局：まつえ産業支援センター)へ業務委託し、ケララ州の学生等に対する日本語教育支援、圏域企業へのインターンシップ等を行った。

(1) インド人材向けオンライン日本語教育の実施

○インターンシップ参加候補者(14名)向けオンライン日本語教育を実施

(2) インターンシップ・会社見学受入

○令和3年度に来圏予定であったラジャギリ工業技術大学と島根大学との交換留学生4名のインターンシップ、会社見学の受入を圏域企業に協力いただき実施

・時期：4月～8月 受入企業：インターンシップ3企業/会社見学3企業

※うち2名が圏域企業へ就職。

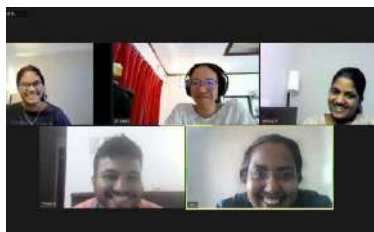
○インドでの選考等を経て、SCMS3名、コチ理工大学2名の短期インターンシップ受入を圏域企業に協力いただき実施

・時期：令和5年2月 受入企業：2企業

(3) オンラインインターンシップ

○圏域企業に協力いただき、短期インターンシップ研修生候補者のうち2名のオンラインインターンシップを実施

・時期：8月～9月(1週間)



日本語教育の実施



インターンシップ



会長表敬訪問

2. 経費内訳

・中海・宍道湖・大山圏域

インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会への委託費 8,396,225 円

【財源】

令和4年度自治体国際協力促進事業(モデル事業)助成金 3,500,000 円

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	台湾との経済交流事業			
事業概要	予算現額	5,113,000 円		
台北市との経済等交流促進を目的にした覚書の締結に合わせ、セミナー等を開催し、海外展開への機運の醸成を図る。	決算額	5,112,721 円		
	財源	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
	内訳	負担金	一般	5,112,721 円
			特定	0 円
前年度決算額	225,560 円			

1. 事業内容

延期となっていた、台北市との交流促進覚書を10/20に台北市において締結したほか、今後の圏域内企業の台湾への海外展開支援を目的とした、台北市内の経済団体と意見交換等を行った。

(1) 台北市と交流促進覚書を締結

○ 中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市間の交流促進覚書の内容

- 1 観光誘客・物産の流通促進に向けたプロモーション
- 2 産業・経済分野における連携・協力
- 3 青少年等による文化・芸術・スポーツ等の交流
- 4 そのほか、相互の発展のために必要な事業の実施及び支援

- ・日時：令和4年10月20日
- ・場所：リージェント・タイペイ
(台湾台北市中山北路二段39巷3号)



(2) 台北市経済団体訪問

○ 1月に台北市内の経済団体、台日産業連携推進オフィス (TJPO)、日本台湾交流協会、台湾貿易センター (TAITRA) を訪問し、今後の経済交流に向けて意見交換を行った。また、あわせて圏域内事業者の台北市市場調査等を実施

(3) 春節前建国花市での物販支援

○ 建国花市 (1/14, 15) で圏域 PR を兼ねて物販支援を実施



台北市経済団体訪問



春節前建国花市

2. 経費内訳

- ・台北市訪問経費等 5,112,721 円

事業項目	③山陰いいものマルシェプロジェクト		
事業名	山陰いいものマルシェプロジェクト		
事業概要	予 算 現 額		7,500,000 円
	決 算 額		7,500,000 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補 助 金	0 円
		負 担 金	一般
特定	0 円		
前年度決算額		2,754,524 円	

1. 事業内容

JR 西日本、山陰中央新報社、ジェットロ、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、圏域市長会の5者で構成する「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」（事務局：松江商工会議所）と協定を締結し、山陰いいものマルシェ及びマッチング商談会を開催した。

(1) 圏域内でのマルシェ及び商談会の開催

○「山陰いいものマルシェ in 安来」の開催

- ・開催日：12月11日（日）
- ・会 場：中海ふれあい公園（出店30店舗）
- ※荒天のため、途中中止（来場：600名）



○山陰いいものマルシェ マッチング商談会の開催

- ・開催日：3月23日（木）
- ・会場：松江テルサ
- ・参加事業者：11社（うち圏域内事業者8社）
- 招致バイヤー：6社
- ・商談件数 37件
- 商品評価（15） 商品開発助言（15）
- 販路開拓助言（4）
- 催事・試食（試飲）の出展検討（1）
- ギフト商品・通販の検討（13） 常設商品の検討（11）



(2) 協力事業

- よなごグランマルシェ 2022（主催：米子商工会議所、米子商工会議所 青年部）
- ・開催日：10月29日（土）
- ・参加事業者：よなご・マルシェ15店舗、山陰いいものマルシェ15店舗

2. 経費内訳

山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会への負担金 7,500,000 円

(2) 訪ねてみたい圏域づくり (観光振興)

02 事業費

事業項目	①一社) 圏域観光局への負担金		
事業名	一社) 圏域観光局への負担金		
事業概要	予 算 現 額		45,110,000 円
一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づき、観光事業に対する負担金を支出する。	決 算 額		45,110,000 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	円
		補助金	円
		負 担 金 一般	円
		特定	円
前年度決算額		57,385,000 円	
<p>1. 事業内容</p> <p>○参考「令和4年度中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告 (P30~P40)」のとおり</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>○参考「令和4年度中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告 (P30~P40)」のとおり</p>			

(3) 住みたくなる圏域づくり (環境の充実)

02 事業費

事業項目	①自然環境の保全・活用事業			
事業名	自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発			
事業概要	予 算 現 額		2,450,000 円	
	決 算 額		2,330,165 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
		負 担 金	一般	2,330,165 円
			特定	0 円
前年度決算額		311,457 円		

1. 事業内容

ラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖をはじめとする圏域の豊かな自然や環境について、圏域の子どもたちへ体験を通して学習できる機会提供等を行い、圏域の自然環境の豊かさや環境保全に関する普及啓発を行った。

(1) 子ども探検スクールの開催

○夏季企画の開催 (参加者：児童 34 名 保護者 30 名)

①安来 水力発電所の見学、発電工作キットで発電の仕組みを学習

・8月 7日 (日) 児童 19 名、保護者 17 名

・会場：伯太発電所・伯太中央交流センター

②松江 海岸清掃と環境ミニゲームなどでごみが海の環境に与える影響を学習

・8月 20日 (土) 児童 7 名、保護者 6 名

・会場：大芦海岸・マリングートしまね

③境港 工場見学、リサイクルエネルギーなどについて学習

・8月 27日 (土) 児童 8 名、保護者 7 名

・会場：三光潮見工場・三光本社



安来会場



松江会場



境港会場

○冬季企画の開催 (参加者：児童 37 名 保護者 30 名)

①中海・宍道湖 中海・宍道湖についての学習、船上からの水鳥観察

・12月 4日 (日) 児童 8 名、保護者 10 名 会場：中海

・12月 11日 (日) 児童 10 名、保護者 10 名 会場：宍道湖

②米子 施設見学、発電の仕組み、再生可能エネルギーについて学習

・12月 17日 (土) 児童 9 名 会場：米子市クリーンセンター・ローカルエナジー(株)

③出雲 施設見学、発電の仕組み、ごみを減らす工夫を学習し、工作体験を実施

・1月 7日 (土) 児童 10 名、保護者 10 名 会場：出雲エネルギーセンター



水鳥観察



米子会場



出雲会場

(2) 自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信

○山陰まんなかの残したい環境フォトコンテストの開催

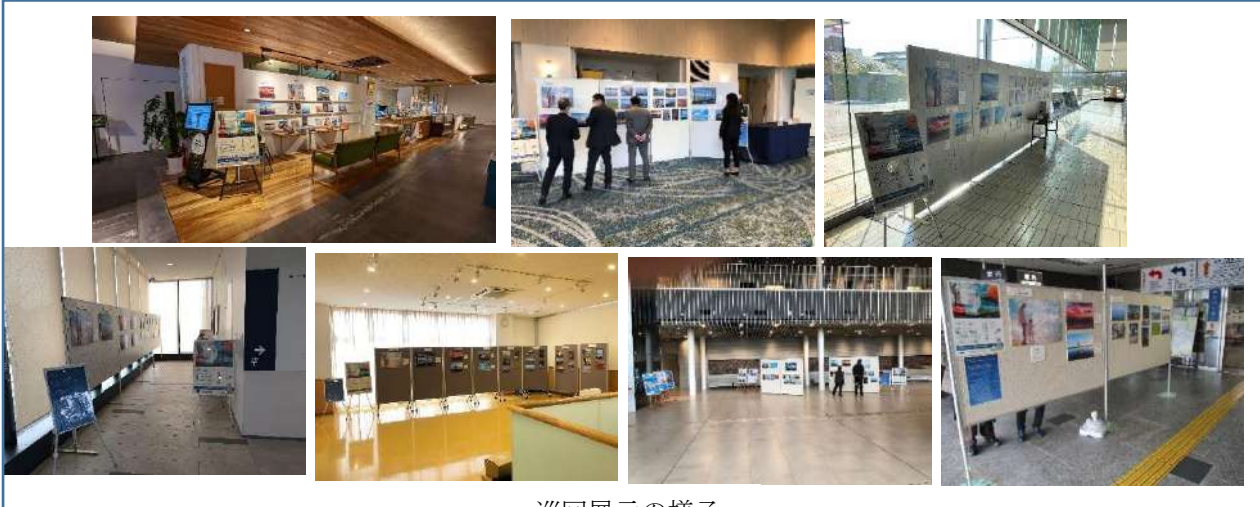
- ・募集期間：7月16日（土）～10月31日（月）
- ・募集方法：インスタグラム及び応募フォーム
- ・応募点数：1,521点（WEBで結果発表）
- ・展 示：Tonomachi63(松江市)及び各市で巡回展示



一般の部 最優秀賞作品



U-18の部 金賞作品



巡回展示の様子

○ノベルティグッズの作成

- ・5色付箋セット 400個



○第7回 中海バイク&ラン+（プラス）（主催：島根県・鳥取県 共催：圏域市長会）

- ・開催期間：11月19日（土）～11月20日（日）
- ・参加者：118人（定員150人）



2. 経費内訳

子ども探検スクール開催経費	1,008,015円
自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信	1,322,150円

事業項目	②安心して暮らすことのできる環境づくり事業			
事業名	防災対策の充実			
事業概要	予算現額	500,000 円		
安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取組を行う。	決算額	497,750 円		
	財源	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
	内訳	負担金	一般	497,750 円
			特定	0 円
前年度決算額	472,750 円			

1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会の開催及び防災資機材等の購入（連絡協議会幹事市：境港市）

(1) 構成市町村の防災担当課による連絡協議会開催

○連絡協議会の開催 [8月15日(月) 14:00～16:00 会場：境港市災害対策本部室]

○通信訓練の実施 [3月13日(月) 9:00～10:30 会場：各自治体執務室]



(2) 各市間で融通し使用する防災資機材の購入

○ペットケージ、ペットキャリーの購入

	米子市	松江市	出雲市	境港市	安来市
ケージ	11	11		2	3
キャリー			11	2	

[参考]

中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会

中海・宍道湖・大山圏域災害時相互応援協定（H25年締結）に基づき設置された協議会
構成市町村：5市及び鳥取県西部町村会



2. 経費内訳

防災資機材購入経費

497,750 円

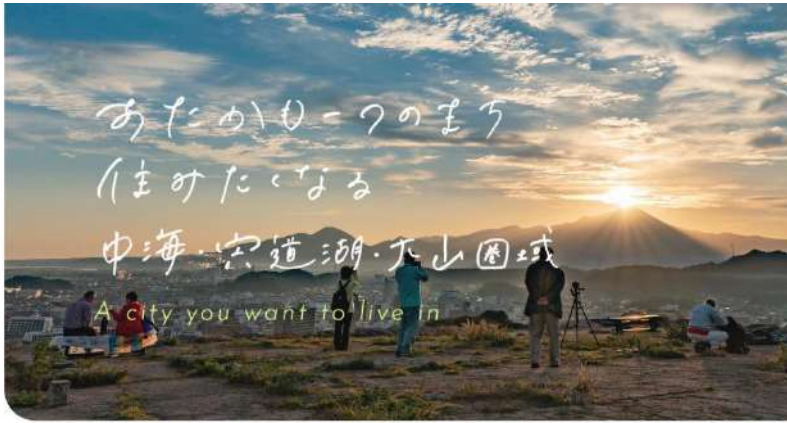
(4) ともに歩む圏域づくり (連携と協働)

02 事業費

事業項目	①圏域情報の共有・発信			
事業名	圏域内外へのエリアプロモーション			
事業概要	予 算 現 額	2,040,000 円		
圏域振興ビジョンに示す圏域の将来像、ビジョンや市長会の活動の広報周知に努めるとともに、圏域内での一体感醸成、圏域外における認知度向上のための情報発信を行う。	決 算 額	1,599,730 円		
	財 源	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
	内 訳	負 担 金	一般	1,599,730 円
			特定	0 円
前年度決算額	6,227,980 円			
1. 事業内容				
<p>市長会ホームページは開設から10年が経過することから、より見やすく、分かりやすい情報発信を行うために、ホームページの改修を行ったほか、令和3年度に改訂した中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンの本編及び概要版を印刷し、関係機関等へ配布するなど、圏域内外への広報周知を実施した。</p>				
(1) 中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンの印刷				
○令和3年度に改訂した中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンの本編及び概要版を印刷し、関係機関等へ配布				
<p>①発行部数 ・本 編 1,500 部 ・概要版 2,000 部</p>				
②送付先				
鳥取県 島根県 島根経済同友会 鳥取県経済同友会 米子商工会議所 境港商工会議所 松江商工会議所 出雲商工会議所 平田商工会議所 安来商工会議所 (株)山陰中央新報社 (株)新日本海新聞社 米子市観光協会 (一社)松江観光協会 (一社)出雲観光協会 (一社)境港観光協会 安来市観光協会 まつえ北商工会 まつえ南商工会 東出雲町商工会 安来市商工会 出雲商工会 斐川町商工会 (大)島根大学(地域連携担当) 東京大学地域未来社会連携研究機構 (一社)山陰インバウンド機構 境港貿易振興会 境港管理組合 山陰インド協会 西日本旅客鉄道(株)米子支社(山陰地域振興本部) 水木しげる記念館 (株)水木プロダクション 他				
(2) ホームページ改修				
○中海・宍道湖・大山圏域市長会ホームページについて、活動状況を分かりやすく伝えるため、利用者の利便性向上を念頭に置いた情報分類、ホームページデザインの見直しを行うとともに、スマートフォンなどへの対応を実施				



- お知らせ
- 市長会について
- 振興ビジョン
- 各振興部の使命について
- 施設について
- 山陰まんが観光局
- イメージキャラクター「ワンバクくん」
- リンク
- アクセス/お問い合わせ



ホームページの画面



スマートフォンの画面

(3) ホームページ等を活用した圏域内外への広報周知

○ホームページ管理業務委託

(4) 各市広報紙への市長会通信の掲載

○市長会の活動について年4回、各市の広報紙を活用し情報発信を実施



各市の広報紙に掲載

2. 経費内訳

・中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンの印刷	434,500 円
・ホームページ改修業務委託料	858,000 円
・ホームページ運用管理委託料	287,980 円
・その他	19,250 円
・合計	1,599,730 円

事業項目	②圏域内の連携・交流推進			
事業名	圏域内の連携・交流推進			
事業概要	予 算 現 額		5,560,000 円	
圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。	決 算 額		4,334,373 円	
	財 源	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
	内 訳	負 担 金	一般	1,884,373 円
			特定	2,450,000 円
前年度決算額		2,929,853 円		

1. 事業内容

圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市、各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間及び各団体との意見交換の場を設ける等、連携を促進するための仕掛けづくりを行った。

(1) 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進

○8月5日（金）合同勉強会の開催

- ・講師：東京大学未来ビジョン研究センター 教授 高村ゆかり氏
- ・演題：「カーボンニュートラルに向かう世界「変化」の中の地域と企業」

○2月10日（金）合同勉強会の開催

①「中海・宍道湖・大山圏域8の字ルート研究会」 中間報告

- ・報告者：中海・宍道湖・大山圏域8の字ルート研究会
座長 八幡泰治氏（米子市 総合政策部長）

②「8の字ネットワーク整備の効果分析の検討」について

- ・報告者：国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
事務所長 近藤弘嗣氏

(2) 圏域内インフラ（中海架橋、米子道4車線化、境港出雲道路、境港米子道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動等、圏域一体で取り組む事業の推進・強化

○「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」令和4年度役員会開催（5/13）

○中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に係る国土交通省に対する要望活動

①国土交通省 鉄道局官房審議官への要望活動（5/31）

②国土交通省 鉄道局官房技術審議官（鉄道）への要望活動（11/17）

○松江市（くにびき駐車場）、出雲市（JR出雲市駅）、米子市（米子市公会堂、淀江支所）、安来市（親子交流センター前、汐彩公園前）の周辺施設等に新幹線PR看板を設置

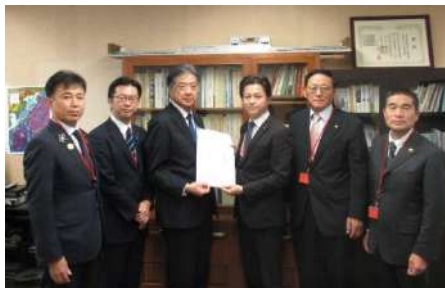
また、境港市はまるーぷバス車内に新幹線PR広告を設置

○境港整備に係る国交省、鳥取県・島根県選出国會議員に対する要望活動

①国土交通省港湾局長及び地元選出国會議員への要望活動（7/28、11/17）

○中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 IC～境港間）整備促進総決起大会

②中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 IC～境港間）整備促進総決起大会を共催するとともに、国土交通省に対し要望活動実施（11/8）



中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に係る要望活動



新幹線 PR 看板の設置

(3) 中海・宍道湖・大山圏域 8 の字ルート研究会の設置

○有識者や関係行政機関を構成メンバーとして、中海と宍道湖を介して 8 の字につながる高規格道路ネットワークを活用した圏域づくりについて研究し、総会及びブロック経済協議会との合同勉強会にて中間報告を行った。

- ・研究会 10/5 12/23 1/27
- ・企画部会 10/11 12/15 1/19
- ・産業部会 10/7
- ・観光部会 10/27

(4) 全国街道交流会議第 13 回全国大会山陰大会

○街道によって結ばれた地域間の交流や連携を促し、街道でつながった歴史、文化を生かしたまちづくりの推進を目的とした、全国街道交流会議第 13 回全国大会「山陰大会」を開催し本大会のほか、観光文化事業として、小泉八雲を共通テーマとした SDGs バスツアーを実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、リーフレット及び短編動画映像の作成等、コロナ禍でも可能な事業は実施したものの、SDGs バスツアーと本大会の開催については令和 5 年度に延期

2. 経費内訳

・意見交換会、合同勉強会の開催経費	134,373 円
・圏域内連携事業推進経費（要望活動旅費等）	0 円
・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金	2,450,000 円
・全国街道交流会議第 13 回全国大会山陰大会開催負担金	1,750,000 円
・合計	4,334,373 円

事業項目	① 圏域内の連携・交流推進		
事業名	人材育成の共同化		
事業概要	予算現額	2,000,000 円	
圏域内における人的交流の推進による一体感の醸成を図り、圏域を担う人材育成に向けた取組を行う。	決算額	1,446,615 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
	特定		0 円
前年度決算額	1,325,663 円		

1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域の未来を切り開く推進力となる人材育成を目的に、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会と共同で研修会を開催し、受講者が多彩な分野の講師による経験・理論を学んで視野を広げるとともに、企画力・想像力を磨く機会を提供した。

その他、圏域の人材育成の取組として、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に係るセミナーの開催、発明楽コンテストへの支援を行った。

(1) 官民が連携した人材育成研修の実施

○「山陰まんなか未来創造塾」の開催

- ・講師：PR プロデューサー 殿村美樹氏
- ・全体テーマ：地方で頑張る中小企業のブランド戦略～新時代に生き残るために～

①第1回

- ・日時：1月19日（木）13:30～16:30
- ・会場：出雲商工会議所6階大ホール（出雲市大津町1131-1）
- ・テーマ：講義「地方の中小企業のブランド構築の基本概念」
グループワーク「各社の課題の明確化」
- ・出席者30人（企業11人、商工団体5人、自治体14人）



②第2回

- ・日時：2月3日（金）13:30～16:30
- ・会場：安来商工会議所1階大ホール（安来市安来町878-8）
- ・テーマ：講義「明日から実践できるマーケティング戦略」
グループワーク「盲点の洗い出しと、
売上アップの具体的戦術を明確化」
- ・出席者29人（企業14人、商工団体2人、自治体13人）



[第3回]

- ・日 時：3月10日（金）13:30～16:30
- ・会 場：米子商工会議所7階大会議室（米子市加茂町2-204）
- ・テーマ：講義「新時代のイメージ戦略とPR手法

～少子化に良い人材を獲得し、売上をアップするために～

グループワーク「各社の具体的な実践プラン作成」

- ・出席者26人（企業13人、商工団体4人、自治体9人）



(2) 圏域未来人材の育成

○「DXセミナー」の開催

①民間企業向けセミナー

- ・日時 10月26日（水）16:00～17:00 ※オンライン開催
- ・講師 株式会社STANDARD（研修依頼先 株式会社アイネス）
- ・演題・テーマ 地方中小企業の事例、DXの始め方・進め方を学ぼう
- ・受講者数：15人（企業・商工団体：4人、行政：11人）

②行政職員を対象とした勉強会

- ・日時 9月16日（金）14:30～17:30 ※オンライン開催
- ⑦演題・テーマ 「自治体情報システム標準化について」
講師 株式会社アイネス 駒形修司氏
- ⑧DXソリューション事例紹介
株式会社アイネス 自治体DX営業部
- ⑨演題・テーマ ～20年後、わがまちがスマートであるために～
庁内の「DX推進機運」を高める処方箋
講師 総務省地域情報化アドバイザー 宮崎昌美氏
講演終了後、行政間で意見交換会を実施
- ・受講者数：63人



○発明楽普及支援事業の実施

圏域の高校生を中心とした次世代の産業人材の育成及び技術・製品開発能力の向上に向けた機運醸成を目的とした発明楽コンテストに対し、支援を行った。

- ・名 称 第4回発明楽コンテスト（高校生による発明案プレゼンテーションコンテスト）
- ・開催日程 3月25日（土）14:30～16:00
- ・開催場所 BSS ふれあいスタジオ、参加高校、コメンテーターをインターネット中継
- ・主 催 発明楽コンテスト実行委員会（鳥取大学医学部附属病院、BSS 山陰放送）
- ・応募期間 11月14日（月）～1月16日（月）
- ・応募資格 高等学校に在籍する生徒 1～5名（複数案応募可）
- ・募集内容 「地方の自然豊かな環境下に於けるDX（デジタルトランスフォーメーション）のベストミックスアイデア」
「困っている課題を解決し、まわりの人が笑顔や幸福（Well-Being）になれるアイデア」

- ・ 広報活動 テレビ 告知期間 令和4年12月～令和5年3月
Web 掲載期間 11月14日(月)～3月29日(水)
- ・ 応募総数 (チーム総数)
鳥取県5校(16チーム)、島根県2校(2チーム)、宮城県1校(1チーム)
計8校(18チーム) 総勢56名の高校生参加
このうち最終審査に圏域から、3校(米子東高校・米子高専・出雲高校)が出場



2. 経費内訳

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ・ 山陰まんなか未来創造塾実行委員会への負担金 | 946,615 円 |
| ・ 発明楽普及支援事業 | 500,000 円 |
| ・ 合計 | 1,446,615 円 |

事業項目	② 圏域内の連携と協働			
事業名	文化・スポーツ交流促進事業			
事業概要	予 算 現 額		2,700,000 円	
	決 算 額		1,261,150 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
		負 担 金	一般	1,261,150 円
			特定	0 円
前年度決算額		190,000 円		

1. 事業内容

学校区や自治体の枠を越えた若い世代からの交流促進及び圏域のプロスポーツチームと交流や各市で開催されるイベントでの伝統芸能の披露し、地域への愛着や一体感の醸成を図ることを目的とした、圏域内の文化・スポーツ交流促進事業の実施及び支援等を行った。

(1) スポーツを通じた圏域交流イベントの開催

○圏域の小学生とその保護者を対象とした、圏域のプロスポーツチームの選手等とのスポーツ交流イベント「～トップアスリートとあそぼう～第4回キッズふれあいスポーツフェスティバル」を開催

- ・日 時 2月23日（木・祝）10:00～12:00
- ・会 場 松江市総合体育館（メインアリーナ）
- ・参加チーム ガイナーレ鳥取、ディオッサ出雲、島根スサノオマジック
- ・イベント内容 ガイナーレ鳥取…昔遊び（鬼ごっこ）
ディオッサ出雲…フットサル
島根スサノオマジック…バスケットボール
- ・参加者 圏域の小学生1～2年生及びその保護者84名（42組）
※定員50組に対し410組が応募。



(2) イベント交流事業の開催

○各市で開催されるイベントにおける伝統芸能の披露など交流事業を実施

イベント名称	招致団体	開催日時
第77回みなと祭	安来節 関乃五本松節	7月24日(日)
第17回出雲神話まつり	川津ふる里太鼓	8月24日(日)
松江伝統芸能祭	境港大漁太鼓	3月12日(日)

2. 経費内訳

- | | |
|----------------------|------------|
| ・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催 | 561,710円 |
| ・イベント交流事業の開催 | 699,440円 |
| ・合計 | 1,261,830円 |

02 事業費

事業項目	②圏域内の連携・交流推進			
事業名	圏域情報活用推進事業			
事業概要	予 算 現 額	400,000 円		
圏域市長会構成市等のあらゆる情報を、 圏域の連携事業に活用する。	決 算 額		257,121 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負 担 金	一般	257,121 円
			特定	0 円
前年度決算額		2,500,000 円		
<p>1. 事業内容</p> <p>令和 2 年 2 月に締結した国立大学法人東京大学地域未来社会連携研究機構との協定に基づき、地域課題政策立案プログラムを推進する。令和 4 年度は東京大学地域未来社会連携研究機構の羽藤英二教授に、「中海・宍道湖・大山圏域 8 の字ルート研究会」のアドバイザーを委嘱し、高規格道路を活かしたまちづくりに指導及び助言をいただいた。</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>・旅費等 257,121 円</p> <p>・合計 257,121 円</p>				

02 事業費

事業項目	②圏域内の連携と協働			
事業名	中海・宍道湖レガッタ開催支援事業			
事業概要	予 算 現 額	200,000 円		
中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利 用を推進するため、中海・宍道湖レガッタ の開催を支援する。	決 算 額		0 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負 担 金	一般	0 円
			特定	0 円
前年度決算額		0 円		
<p>1. 事業内容</p> <p>中海・宍道湖を活用したレガッタ大会開催に係る支援</p> <p>中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付し、大会の円滑な実施を支援するとともに、自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図る当初計画であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中海・宍道湖レガッタは開催中止となった。</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金 0 円</p>				

事業項目	②圏域内の連携・交流推進			
事業名	移住・定住等促進事業			
事業概要	予 算 現 額	2,830,000 円		
圏域人口 60 万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。	決 算 額	2,411,803 円		
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	一般	1,469,770 円
			特定	942,033 円
前年度決算額	622,005 円			

1. 事業内容

圏域における移住・定住を促進に向け、圏域内に居住、通勤通学または定住を考える独身男女を対象に、結婚相手に出会う機会を創出し、未婚化、晩婚化の改善を図るほか、東京大学や島根大学との連携により関係人口の拡大を図る取り組みを行った。

(1) 婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組

○今回は、初めにバスツアーによる参加者同士の共同体験による親しくなる効果を狙い、模擬結婚式の出席者として再会する再会パーティでは、結婚式場でイベントを行うことで、より婚活を意識させるようなイベントとし実施

①第1回

(ア)「恋する♡トキメキ・バス婚ツアー in 島根」

- ・日 時：1月22日（日）9:30～18:00
- ・会 場：足立美術館、島根ワイナリー、出雲大社
- ・参加者：男性11名 女性11名 計22名

(イ)「恋する♡トキメキ・バス婚ツアー in 鳥取」

- ・日 時：1月29日（日）9:30～18:00
- ・会 場：中海フルーツパーク、レストランテ天空、(水木しげるロードを当初計画に入れていたが、大雪のため予定を切り上げて、終了した。)
- ・参加者：男性14名 女性9名 計23名（大雪のため欠席者あり）

②第2回

(ウ)「恋する♡トキメキ・バス婚からの再会 Party in 島根・鳥取」

- ・日 時：2月12日（日）11:30～15:00
- ・会 場：グランアクイール（松江市）
- ・参加者：男性23名 女性21名 計44名

カップリング9組

※参加者は第1回の婚活バスツアー（(ア) 又は (イ) のどちらかに参加）と第2回（(ウ) の再会パーティ）に参加することが必須。参加費は5,500円（第1回と第2回分）

(2) 首都圏大学との圏域キャンパス事業

○東京大学が実施するフィールドスタディ型政策協働プログラム及び体験活動プログラムに参加し、学生に対しオンライン講座とフィールドワークを実施

①フィールドスタディ型政策協働プログラム 5名参加

課題：観光DXで中海・宍道湖・大山圏域の未来を描く ～うんぱく3城を中心に～

(ア) オンライン講座

㊦ テーマ：「圏域の観光施策について」

- ・講師：中海・宍道湖・大山圏域観光局 理事長 矢野正紀氏 TM 白井愛子氏
- ・日時：7月15日（金）10:00～11:30

㊧ テーマ：「月山富田城の歴史と概要」

- ・講師：安来市文化財課文化財係 係長 大塚充氏
- ・日時：7月15日（金）13:30～14:30

㊨ テーマ：「松江城と城下町」、「松江城を活用した観光事業」

- ・講師：松江城史料調査課 課長 飯塚康行氏
松江市史松江城部 会長 西尾克己氏
- ・日時：7月19日（火）10:00～11:00

㊩ テーマ：「米子城の概要と観光について」

- ・講師：米子市文化振興課 主事 日下部かさね氏
- ・日時：7月19日（火）15:00～16:30

(イ) 現地活動1

㊦ 8月10日（水）

松江城・塩見縄手散策、堀川遊覧船乗船、松江歴史館（松江城VR体験）見学

㊧ 8月11日（木）

月山富田城跡、安来市立歴史資料館及び広瀬城下町散策

㊨ 8月12日（金）

米子城跡及び下町エリア散策



(ウ) 現地活動2

㉞9月24日(土)

松江白潟地区、中間報告とグループディスカッション、松江水燈路

㉟9月25日(日)

加茂川遊覧～彫刻ロード～古民家所有者との意見交換～月山富田城ボランティア意見交換

㊱9月26日(月)

足立美術館



(エ) 現地報告会

㉚3月15日(水)

参加学生からの研究発表と報告会に参加した地元関係者で意見交換会を開催

②体験活動プログラム 3名参加

- ・活動テーマ：ラムサール条約湿地「宍道湖」・「中海」で水環境と生態系保全を考える
- ・フィールドワーク日時：8月16日(火)～20日(土)
- ・活動内容

宍道湖漁協及び中海漁協に協力を頂き、宍道湖や中海から得られる恵について体験(漁、資源保護活動、食等)。さらに、地域住民の湖に対する想いに触れるため、漁師等との意見交換を行った。



(3) 島根大学・若者を共に育てるプロジェクト

○各市からフィールドワーク候補地や地域課題を提供し、フィールドワークを実施

①イノベーション創成セミナーⅠ 59名参加

各市担当者からのオンライン授業とフィールドワークをとおして学んだ、5市の魅力について、学生目線での地域人材育成コースパンフレットという形で作成した。

(ア) オンライン授業への参加 (6月10日)

(イ) フィールドワーク (7月2日)

㊦松江市 (12名)

美保関町 (美保関灯台、美保神社、青石畳通りなど)、島根町 (松江ビジターセンター、桂島)、宍道町 (宍道サバゲーPARK DANDAN)

㊧出雲市 (12名)

大社町 (日御碕神社、出雲日御碕灯台など)、出雲大社 (神門通り、稲佐の浜)、多伎町 (キララ多伎)

㊨安来市 (12名)

安来節演芸館、足立美術館、月山富田城跡

㊩米子市 (11名)

チュウブ YAJIN スタジアム、皆生ビーチリゾート、米子城下町 (上町、下町)

㊪境港市 (12名)

境港水産物直売センター、大漁市場なかうら、境港さかなセンター、海とくらしの史料館、台場公園、水木しげるロード・水木しげる記念館

②中山間地域フィールド演習 5名参加

(ア) フィールドワーク先：出雲市伊野地区 (8月5日～10日)

(イ) 活動内容

伊野地区自治協会や伊野やって未来こい！の皆さんに協力いただき、伊野地区での取り組みについてフィールドワークを行った。最終日には地区の住民の方を招いて、報告会を行った。報告会では参加学生から地域の魅力を活かした提案発表や住民と学生との意見交換を行った。

【学生からの提案】

- ・自然環境 (ほたるロード、子供の遊び場) の情報発信の強化
- ・ゲームを活かした交流の促進
- ・地域人を活用したインターンシップ
- ・空き家を活用した移住・定住
- ・小学校を活かした地域づくり

③イノベーション創成セミナーⅡ 10名参加

(ア) 日時：10月16日 (日)

(イ) フィールドワーク先：㊦境港市「境港おさかなパーク」

㊧松江市「五本松公園」

・テーマ：㊦施設の利活用、周辺施設と連携した周遊について

㊧リフト跡の活用方法、周辺観光地と連携した滞在型観光について

【学生からの提案】

- ㊦・魚の捌き方教室の開催
 - ・周辺施設とのスタンプラリー（ガチャガチャの設置）
 - ・プロジェクションマッピング など
- ㊧・ハイキングコース・ヨガ体験
 - ・フォトスポット（恋人たちの聖地）
 - ・廃墟を活かした美術資料 など



2. 経費内訳

・婚活に係る経費	942,033 円
・東京大学との圏域キャンパス事業に係る経費	449,485 円
・島根大学 若者を共に育てるプロジェクトに係る経費	1,020,285 円
・合計	2,411,803 円

3 特別会計

(1) 環日本海貨客船航路就航支援補助金

02 事業費

事業項目	①環日本海貨客船航路就航支援補助金			
事業名	定期貨客船航路就航支援補助金			
事業概要	予算現額	0 円		
北東アジアに向けたゲートウェイ機能の継続のため、鳥取県と共同で、環日本海貨客船航路の運航を支援する。	決算額	0 円		
	財源	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
	内訳	負担金	一般	0 円
			特定	0 円
	前年度決算額	0 円		
<p>※運航再開への状況等を踏まえて、必要に応じて、別途補正予算対応を検討する計画であったが、まだ再開の見通しは立っていない状況。</p> <p>1. 事業内容</p> <p>定期貨客船航路就航支援補助金</p> <p>圏域の基幹的な物流、観光インフラであることから、運航会社の自立的な運航への移行を支えながら、航路の定着、安定化を図るため、運航に必要な経費の一部を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1航次につき、運航経費のうち固定経費の1/10（上限1,000千円） @1,000千円×52航次×3/10=15,600千円 ・負担割合：鳥取県7/10、市長会3/10 <p>2. 経費内訳</p> <p>環日本海貨客船航路就航支援補助金</p> <p>※今後の運航再開への状況等を踏まえて、必要に応じて別途補正予算対応。</p> <p>※令和元年11月からの運休、運航会社の韓国海洋水産部への運航免許返納（令和2年4月）があり、令和2年度以降運航なし。</p> <p>[参考]</p> <p>令和2年度当初予算（構成市の負担額）</p> <p>出雲市・松江市・米子市各2,000千円　安来市1,000千円　境港市8,600千円</p>				

参 考

令和4年度

一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局

事業実施報告

一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局 令和4年度決算額一覧表

(単位：円)

【歳入】

項	目	当初予算額	補正①	補正②	補正③	現計予算額	決算額	比較	備	考
負担金	負担金	45,110,000	0	0	0	45,110,000	45,110,000	0		
	市長会からの負担金	45,110,000				45,110,000	45,110,000	0		
会費	会費	6,840,000	0	0	0	6,840,000	6,840,000	0		
	正会員	6,570,000				6,570,000	6,570,000	0		
	賛助会員	270,000				270,000	270,000	0		
補助金	補助金	15,470,000	0	△ 1,700,000		13,770,000	13,768,650	△ 1,350		観光庁
	繰越金	3,910,000	2,936,000	0	0	6,846,000	6,845,767	△ 233		前年度繰越金
諸収入	諸収入	3,000,000	0	0	0	3,000,000	222	△ 2,999,778		【注2のふるさと】事業でのモニタリング参加料計上してだが、事業費へ充てられた。
	合 計	74,330,000	2,936,000	△ 1,700,000	0	75,566,000	72,564,639	△ 3,001,361		

(単位：円)

【歳出】

項	目	当初予算額	補正①	補正②	補正③	現計予算額	決算額	比較	備	考
外国人誘客対策事業	外国人誘客対策事業	25,240,000	0	△ 2,300,000	0	22,940,000	20,181,817	2,758,183		
	クルーズ船おもてなし事業	2,000,000				2,000,000	714,305	1,285,695		
	インバウンドプロモーション	23,240,000		△ 2,300,000		20,940,000	19,467,512	1,472,488		
国内誘客対策事業	国内誘客対策事業	24,400,000	0	1,000,000	0	25,400,000	22,769,887	2,630,113		
	国内広域観光プロモーション	6,600,000				6,600,000	6,560,890	39,110		
	人口集積地(発地型)誘客プロモーション	7,300,000		500,000		7,800,000	5,994,817	1,805,183		
	圏域観光再生支援プログラム	10,500,000		500,000		11,000,000	10,214,180	785,820		
圏域観光の魅力アップ事業	圏域観光の魅力アップ事業	16,500,000	0	1,500,000	0	18,000,000	11,097,385	6,902,615		
	圏域周遊促進及び受入環境充実	16,500,000		1,500,000		18,000,000	11,097,385	6,902,615		「山陰の手しごと」改訂を令和5年度に繰り越す
事務局費	事務局運営費	6,250,000	0	0	0	6,250,000	6,815,141	△ 565,141		
	予備費	1,940,000	2,936,000	△ 1,900,000	0	2,976,000	0	2,976,000		
合 計	合 計	74,330,000	2,936,000	△ 1,700,000	0	75,566,000	60,864,230	14,701,770		
							72,564,639			
							R4歳入合計	60,864,230		
							R4歳出合計	11,700,409		
							令和5年度繰越			

(2) 令和4年度 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施状況報告

訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

協定に基づき圏域DMOが実施

02 事業費

事業項目	①外国人誘客対策事業																																													
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし																																													
事業概要	予 算 現 額		2,000,000 円																																											
	決 算 額		714,305 円																																											
	財 源 内 訳	市長会負担金	714,305 円																																											
		DMO会費	円																																											
		補助金	円																																											
		その他	円																																											
前年度決算額		2,194,162 円																																												
<p>1. 事業内容</p> <p>(1) 岸壁における観光案内・交流イベントの実施</p> <p>○クルーズ客船寄港地である境港市を中心に、市長会5市が協力して、クルーズ客船乗客及びクルー向けの交流イベント（伝統芸能披露、日本文化体験 等）や観光案内を実施</p> <p>■寄港回数6回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>寄港日</th> <th>船名</th> <th>乗客数</th> <th>お見送りイベント</th> <th>観光案内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月6日</td> <td>ぱしふいっくびいなす</td> <td>225人</td> <td>関之五本松節保存会</td> <td>米子市</td> </tr> <tr> <td>7月27日</td> <td>ぱしふいっくびいなす</td> <td>104人</td> <td>安来節保存会</td> <td>松江市</td> </tr> <tr> <td>9月14日</td> <td>ぱしふいっくびいなす</td> <td>105人</td> <td>境高校吹奏楽部</td> <td>出雲市</td> </tr> <tr> <td>10月16日</td> <td>飛鳥II</td> <td>190人</td> <td>雲州ひらた太鼓</td> <td>安来市</td> </tr> <tr> <td>3月22日</td> <td>ウエステルダム</td> <td>1,880人</td> <td>立正大湊南高校 マーチングバンド部</td> <td>境港市</td> </tr> <tr> <td>3月25日</td> <td>アザマラ・クエスト</td> <td>606人</td> <td>境第一中学校吹奏楽部</td> <td>観光局</td> </tr> </tbody> </table> <p>■停泊中イベント（墨字） 2回実施 3月22日、25日</p> <p>(2) 外国語観光案内業務及びボランティアの募集登録・管理</p> <p>○外国語による観光案内ができる通訳ボランティアの募集・登録を行い、ボランティアによる観光案内業務を実施（3/22、3/25）。（中海・宍道湖観光協会会議に委託）</p> <p>2. 経費内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・観光案内・交流イベントの実施に係る経費</td> <td>653,613 円</td> </tr> <tr> <td>・観光案内ボランティア業務に係る経費</td> <td>60,692 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>714,305 円</td> </tr> </tbody> </table>				寄港日	船名	乗客数	お見送りイベント	観光案内	6月6日	ぱしふいっくびいなす	225人	関之五本松節保存会	米子市	7月27日	ぱしふいっくびいなす	104人	安来節保存会	松江市	9月14日	ぱしふいっくびいなす	105人	境高校吹奏楽部	出雲市	10月16日	飛鳥II	190人	雲州ひらた太鼓	安来市	3月22日	ウエステルダム	1,880人	立正大湊南高校 マーチングバンド部	境港市	3月25日	アザマラ・クエスト	606人	境第一中学校吹奏楽部	観光局		決算額	・観光案内・交流イベントの実施に係る経費	653,613 円	・観光案内ボランティア業務に係る経費	60,692 円	計	714,305 円
寄港日	船名	乗客数	お見送りイベント	観光案内																																										
6月6日	ぱしふいっくびいなす	225人	関之五本松節保存会	米子市																																										
7月27日	ぱしふいっくびいなす	104人	安来節保存会	松江市																																										
9月14日	ぱしふいっくびいなす	105人	境高校吹奏楽部	出雲市																																										
10月16日	飛鳥II	190人	雲州ひらた太鼓	安来市																																										
3月22日	ウエステルダム	1,880人	立正大湊南高校 マーチングバンド部	境港市																																										
3月25日	アザマラ・クエスト	606人	境第一中学校吹奏楽部	観光局																																										
	決算額																																													
・観光案内・交流イベントの実施に係る経費	653,613 円																																													
・観光案内ボランティア業務に係る経費	60,692 円																																													
計	714,305 円																																													

事業項目	① 外国人誘客対策事業			
事業名	圏域インバウンドプロモーション			
事業概要	予算現額		20,940,000 円	
圏域を一体的に発信する利点を活かし、重要ターゲット国* を定め、JNTO、山陰DMOと役割分担し、国別に有効な観光プロモーションを実施する。 *重要ターゲット国・・・山陽方面に來訪する欧米豪、直通及び近隣の国際路線による東アジア（台湾、香港、上海）	決算額		19,467,512 円	
	財源	市長会負担金	13,197,512 円	
		DMO会費	円	
	内訳	補助金	観光庁	6,270,000 円
		その他		円
前年度決算額		10,875,881 円		
1. 事業内容 (1) 海外への観光プロモーションの実施 <u>○欧米豪向けプロモーションの実施</u> ① JNTO（日本政府観光局）を活用したプロモーション ・VISIT JAPAN トラベル& MICE マートへ出展（9/22～24） ・JNTO 観光コンテンツ多言語ウェブサイト「Experience in Japan」にて「出雲国 酒ツアー」掲載（募集テーマ 酒蔵・蒸溜所・醸造所・ワイナリー） ②英語版ホームページによる情報発信 ・うんぱく三城に関するページを作成 <u>○台湾向けプロモーションの実施</u> ①一畑グループ台湾事務所による現地情報発信 ・台湾でのイベント開催時に情報発信、訪台時の協力、台湾の景気動向や旅行需要の収集、報告 ②台湾向けプロモーション ・訪日旅行サイト「JAPANKURU」での7言語での情報発信を実施（7/25～） ・春節前建国花市での情報発信（1/14） ③台湾現地商談会 ※観光庁補助 ・令和5年2月7日実施 ■参加団体 日本側：34団体 台湾側：63社（旅行会社） <u>○外国人による「山陰まんなか！歴史文化を知り、ご縁を結ぶ広域周遊プラン」造成・流通受入環境整備事業 ※観光庁補助</u> ①台湾人をターゲットとし、縁結びをテーマとした体験コンテンツ及び広域周遊ルートの造成・販売 ■広域周遊ルート(4件) ※内1コースを商品化し販売 ■「縁結び」体験コンテンツ造成(5施設6件) ※販売開始に向け調整中				

○WEBを活用した情報発信

- ① SNS (Facebook, Instagram 等) 運用委託、wechat ミニプログラム用動画作成
 - ・英語版 SNS (フェイスブック・インスタグラム) 情報発信
委託先 KIZUNA PRODUCTIONS ルーク・ポマレード
 - ・Wechat を活用した情報発信としてライブ配信を実施 (8/4)

2. 経費内訳

	決算額
・欧米豪向けプロモーション	2,651,953 円
・台湾向けプロモーション	15,232,149 円
・WEBを活用した情報発信	1,583,410 円
計	19,467,512 円

事業項目	②国内誘客対策事業		
事業名	国内広域観光プロモーション		
事業概要 国内旅行市場に大きな成長は見込めないが、全体に占める観光消費は高いことから広域的に多様な情報を発信して誘客を促進し、圏域への経済効果を高める。	予算現額		6,600,000 円
	決算額		6,560,890 円
	財源内訳	市長会負担金	6,560,890 円
		DMO会費	円
		補助金	円
		その他	円
前年度決算額		16,075,180 円	

※新型コロナウイルスの感染状況、国内観光需要の動向を見据えて、弾力的な事業展開を図る。

1. 事業内容

(1) WEB、SNSを活用したプロモーション

○日本語版ホームページの拡充

圏域周遊を目的として、インスタグラム画像を写真素材として活用しSNSと連動して魅力の発信を図る。圏域各地にアンバサダーを配置し、定期的な情報発信をしていただき、ホームページの情報更新回数を高める。また、各市のリアルタイムでの観光情報をホームページに並べて閲覧できるよう改修し、一体的な情報発信を図る。

- ① ホームページにセレクトトリップの機能を追加（写真を活用した圏域周遊ルート作成機能）
- ② セレクトトリップのチラシ（2万部）、ポスター（100部）、操作説明動画、バナーの作成
- ③ ホームページデザイン変更
- ④ アンバサダー4名によるブログ更新（圏域のスポット紹介記事を各自月2回投稿）

○その他、国内の観光需要を踏まえた情報発信

- ① まっふる山陰'23（7/15発行）にセレクトトリップの記事を掲載
- ② BSS ラジオ「中四国ライブネット」にて圏域5市の手仕事とその職人にグルメをセットにして情報発信を実施（6/19）

2. 経費内訳

	決算額
・WEB、SNSを活用したプロモーション	6,560,890 円
計	6,560,890 円

事業項目	②国内誘客対策事業		
事業名	人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業		
事業概要	予 算 現 額	7,800,000 円	
人口集中地域である大都市部をターゲットとし、圏域の魅力や観光資源を積極的に情報発信し、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。	決 算 額	5,994,817 円	
	財 源 内 訳	市長会負担金	5,994,817 円
		DMO会費	円
		補助金	円
		その他	円
前年度決算額	10,007,835 円		

※新型コロナウイルスの感染状況、国内観光需要の動向を見据えて、弾力的な事業展開を図る。

1. 事業内容

(1) 基幹交通機関と連携した観光プロモーションの実施

○航空機と連携した事業

① FDA路線と連携した誘客事業

- ・河北新報（27万部）に広告掲載（1/26）
- ・仙台市にて現地イベント開催（3/4,5）（出雲市、21世紀出雲空港整備利用促進協議会、出雲食戦略会議との共催）

②出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港・・・「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港利用促進懇話会」が実施する両空港の冬季利用促進事業

- ・今年度より両会の会員となった。利用促進協議会及び促進協議会へ負担金及び会費

(2) お城を活用したプロモーションの実施

○大阪・お城フェス 2022 へ出展（8/12～8/14）

① 米子市、松江市、安来市と連携し、うんぱく三城及び圏域の情報発信を実施。

松江城、米子城跡、月山富田城跡の講座（3講座×3日）を開催し270名が参加。

2. 経費内訳

	決算額
・基幹交通機関と連携した観光プロモーション	3,601,760 円
・お城を活用したプロモーション	2,393,057 円
計	5,994,817 円

事業項目	②国内誘客対策事業			
事業名	圏域観光再生支援プログラム			
事業概要	予算現額	11,000,000 円		
引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光産業の再生を支援するとともに、回復期に合わせた海外への継続的な情報発信と受け入れ環境の整備に取り組む。	決算額	10,214,180 円		
	財源内訳	市長会負担金	7,715,530 円	
		DMO会費	円	
		補助金	観光庁	2,498,650 円
		その他	円	
前年度決算額	9,569,285 円			
1. 事業内容				
(1) 周遊促進キャンペーン				
○鉄道をテーマとしたインスタグラムハッシュタグキャンペーンを開催 (11/18~3/5)				
応募数：1,686 点				
○日帰り入浴施設湯めぐりキャンペーン第4弾を実施 (12/24~3/6)				
応募数：470 件				
(2) 大学生が考案したツアープラン事業				
■大阪・お城フェス 2022 (8/12~8/14) にて、うんぱく三城それぞれの城学を実施				
※令和3年度東京大学フィールドスタディ事業(市長会事業)で提案された。				
→人口集積地(発地型)誘客プロモーション事業(お城を活用したプロモーション)内で実施				
(3) 圏域素材を組み合わせたオンラインツアーの造成事業				
○オンラインで「山陰の日本一と人の魅力に出会う旅」造成・流通環境整備業務				
※観光庁補助				
①圏域内の日本一、発祥といわれる資源とそれに携わる人を連携させた商品造成・販売				
■オンラインツアー3件				
アンテナショップと連携したツアー2件 (13名参加)				
自宅視聴型ツアー1件 (151名参加)				
■リアルツアー2件 (25名参加)				
2. 経費内訳				
		決算額		
・周遊促進キャンペーン		5,214,330 円		
・圏域素材を組み合わせたオンラインツアーの造成事業		4,999,850 円		
計		10,214,180 円		

事業項目	③圏域観光の魅力アップ事業			
事業名	圏域周遊促進及び受入環境充実			
事業概要			予算現額	18,000,000 円
地域連携DMOの役割である「かせげる圏域づくり」を目指し、圏域観光の魅力充実させ、国内外から圏域へ来訪する観光客の受け入れの充実を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。			決算額	11,097,385 円
	財源内訳	市長会負担金		6,097,385 円
		DMO会費		円
		補助金	観光庁	5,000,000 円
		その他		円
		前年度決算額	17,725,611 円	
1. 事業内容				
(1) 外国人観光客受入環境整備の実施				
○表示物等整備（多言語化支援（翻訳サービス、観光庁直轄事業の活用））				
○観光案内所ネットワーク化の推進（観光案内所連絡会にて研修等の実施）				
①交流促進コンシェルジュ育成研修の開催（観光庁補助事業内で実施「第2のふるさと」）				
・日時及び参加者 10/5 14名、10/7 27名、12/13 20名、1/17 26名				
○キャッシュレス化の推進と免税店登録拡大の研修会など業種別連絡会を通じた取組み				
① キャッシュレス決済導入推進を図るためのデジタルツール活用事例セミナーを開催				
・日時及び会場 11/15 米子（21名） 11/16 松江（20名）				
(2) 各種事業との連携及びノベルティ・パンフレット作成等				
○山陰まんなかぐるり旅改訂（1万部）、周遊ドライブマップ増刷（1万5千部）				
○山陰の手しごと改訂→令和4年度中に業務完了しなかったため、令和5年度に繰り越し。				
(3) 長期滞在型旅行商品造成事業				
○山陰のまんなかで「第2のふるさと」を発見 <u>ロングステイ型旅行商品造成事業</u>				
※観光庁補助				
①4泊5日の日程で圏域を「第2のふるさと」として感じてもらえるよう、地元の人を絡めた旅行商品の造成・販売				
■日本人向け旅行商品 2件（国内旅行者により販売中）				
■外国人向け旅行商品 1件（販売には至らなかった）				
②旅行のお世話役、相談役として活躍してもらえる人材（コンシェルジュ）を育成するための研修を実施。				
(4) 過年度事業項目の磨き上げ、販売促進				
過年度に実施したグローバルコンテンツ造成事業や観光庁補助事業（クラフトツーリズム、温泉ワーケーション）について、事業実施後の磨き上げや更なる販路拡大をおこなう				
■未実施				

2. 経費内訳

	決算額
・外国人観光客受入環境整備	13,345 円
・各種事業との連携及びノベルティ、パンフレット作成等経費	1,082,510 円
・長期滞在型旅行商品造成事業	10,001,530 円
・過年度事業項目の磨き上げ、販売促進	0 円
計	11,097,385 円

事業項目	① 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費		
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営		
事業概要 圏域市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し、地域連携DMO組織として圏域全体の発展を見据え円滑な事務局運営体制を図る。	予算現額		6,250,000 円
	決算額		6,815,141 円
	財源内訳	市長会負担金	4,829,561 円
		DMO会費	1,985,580 円
		補助金	円
		その他	円
前年度決算額		4,414,488 円	
1. 事業内容 (1) 圏域観光局総会・理事会の開催 <u>○総会 ①6/30 (書面会議) ②3/30 (書面会議)</u> <u>○理事会 ①6/28 ②11/16 ③3/29</u> (2) 山陰DMOとの連絡会の開催 <u>○①5/25 ②10/4 ③11/18 ④12/14 ⑤1/18 ⑥3/16 (書面会議)</u> (3) 観光局の運営に係る嘱託職員等の雇用 (4) DMO組織の運営強化及び安定的な事務局運営の構築			
2. 経費内訳			
		決算額	
・事務局運営費		6,815,141 円	
計		6,815,141 円	